平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 研究代表者

| | 部局名 | 研究者名 | 職位 | 研究事業名 | 研究課題名 |
|---|--------|-------|----|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 医学部 | 有村 義宏 | 教授 | 難治性疾患等政策研究事業 | 難治性血管炎に関する調査研究 |
| 2 | 医学部 | 神崎 恒一 | 教授 | 認知症政策研究事業 | 認知症地域包括ケア実現を目指した地域社会創生のための研究 |
| 3 | 医学部 | 山田 昌和 | 教授 | 循環器疾患・糖尿病等生活 習慣病対策総合研究事業 | 成人眼科検診の有用性、実施可能性に関する研究 |
| 4 | 総合政策学部 | 北島 勉 | 教授 | エイズ対策政策研究事業 | 外国人に対するHIV検査と医療サービスへのアクセス 向上に関する研究 |

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 研究分担者

| 平 | 成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 研究分担者 | | | | | | | | | |
|----|---------------------------|--------|-----|------------------|--|------------------|-------|--|--|--|
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 研究課題名 | 研究代表 | 長者 | | | |
| 1 | 医学部 | 有村 義宏 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | びまん性肺疾患に関する調査研 究 | 東邦大学 | 本間 栄 | | | |
| 2 | 医学部 | 要 伸也 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 難治性腎疾患に関する調査研究 | 名古屋大学 | 丸山 彰一 | | | |
| 3 | 医学部 | 佐藤 徹 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 呼吸不全に関する調査研究 | 千葉大学 | 巽 浩一郎 | | | |
| 4 | 医学部 | 佐藤 徹 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 疾患予後と医療の質の改善を目 的とした多領域横断的な難治性 肺高血圧症症例登録研究 | 国際医療福祉大学 | 田村 雄一 | | | |
| 5 | 医学部 | 久松 理一 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | ベーチェット病に関する調査研 究 | 横浜市立大学 | 水木 信久 | | | |
| 6 | 医学部 | 久松 理一 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 難治性炎症性腸管障害に関する 調査研究 | 東邦大学 | 鈴木 康夫 | | | |
| 7 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 長寿科学政策 研究事業 | 地域要因に基づいた在宅医療・ 介護連携推進に関する研究-汎用 性の高い在宅医療・介護関連推 進・ガイドラインの作成 | 名古屋大学 | 葛谷 雅文 | | | |
| 8 | 医学部 | 大山 学 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 重症多形滲出性紅斑に関する調 査研究 | 島根大学 | 森田 栄伸 | | | |
| 9 | 医学部 | 尾崎 峰 | 准教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 難治性血管腫・血管奇形・リン パ管腫・リンパ管腫症および関 連疾患についての調査研究 | 聖マリアンナ 医科大学 | 三村 秀文 | | | |
| 10 | 医学部 | 山田 昌和 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 希少難治性角膜疾患の疫学調査 | 大阪大学 | 西田 幸二 | | | |
| 11 | 医学部 | 山田 深 | 准教授 | 政策科学総合 研究事業 | 国際生活機能分類児童版(ICF-CY)の妥当性に関する研究 | 国立成育医療 研究センター | 橋本 圭司 | | | |
| 12 | 医学部 | 後藤田 貴也 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 原発性高脂血症に関する調査研 究 | 自治医科大学 | 石橋 俊 | | | |
| 13 | 医学部 | 大木 幸子 | 教授 | エイズ対策 政策研究事業 | 地域において HIV 陽性者と薬物 使用者を支援する研究 | ぷれいす東京 | 樽井 正義 | | | |
| 14 | 医学部 | 要 伸也 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 今後の慢性腎臓病(CKD)対策 のあり方に関する研究 | 川崎医科大学 | 柏原 直樹 | | | |
| 15 | 医学部 | 要 伸也 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 難治性血管炎に関する調査研究 | 杏林大学 | 有村 義宏 | | | |
| 16 | 医学部 | 駒形 嘉紀 | 准教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 難治性血管炎に関する調査研究 | 杏林大学 | 有村 義宏 | | | |
| 17 | 医学部 | 久松 理一 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 肥厚性皮膚骨膜症の診療内容の 均てん化に基づく重症度判定の 策定に関する研究 | 国立成育医療 研究センター | 新関 寛徳 | | | |

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 研究課題名 | 研究代表 | 長者 |
|----|-------|-------|-----|------------------------------------|---|----------|-------|
| 18 | 医学部 | 塩川 芳昭 | 教授 | 循環器病・ 糖尿病等 生活習慣病対策 総合研究事業 | 脳卒中の医療体制の整備のため の研究 | 九州大学 | 飯原 弘二 |
| 19 | 医学部 | 大浦 紀彦 | 教授 | 難治性疾患等 政策研究事業 | 糖尿病及び慢性腎不全による< 合併症足潰瘍・壊疽等の重症下 肢虚血重症化の予防に関する実 態調査 | 廣仁会 | 大浦 武彦 |
| 20 | 医学部 | 山田 深 | 准教授 | 政策科学 総合研究事業 | 医療の質の評価指標としての ICF 評価セット(日本版)およ びデータ収集・ツールの作成 | 藤田保健衛生大学 | 才藤 栄一 |
| 21 | 保健学部 | 中島 彰夫 | 准教授 | 地域医療基盤 開発推進研究 事業 | 中小医療機関向け医療機器保守 点検のあり方に関する研究 | 医療機器センター | 菊地 眞 |
| 22 | 保健学部 | 須田 健二 | 講師 | 地域医療基盤 開発推進研究 事業 | 中小医療機関向け医療機器保守 点検のあり方に関する研究 | 医療機器センター | 菊地 眞 |
| 23 | 保健学部 | 中村 淳史 | 講師 | 地域医療基盤 開発推進研究 事業 | 中小医療機関向け医療機器保守 点検のあり方に関する研究 | 医療機器センター | 菊地 眞 |
| 24 | 外国語学部 | 宮首 弘子 | 教授 | エイズ対策 政策研究事業 | 外国人に対する HIV 検査と医療 サービスへのアクセス向上に関 する研究 | 杏林大学 | 北島 勉 |

平成 28 年度戦略的国際科学協力推進事業

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 研究課題名 |
|---|-----|--------|----|--------------------------|---|
| 1 | 医学部 | 小林 富美恵 | 教授 | 医療分野国際科学技術 共同研究開発推進事業 | 三日熱マラリアの重症化におけるTLRの役割と重症化を予知する早期診断技術の開発 |

平成 28 年度 COI (センター・オブ・イノベーション) プログラム

准教授

教授

| | ~~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ | | 717 17 | •• 7 1 7 1 7 1 7 7 1 | |
|---|---|--------|--------|---------------------------------------|---------------------------|
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 研究課題名 |
| 1 | 医学部 | 渡邊 衡一郎 | 教授 | 真の社会イノベーションを 実現する革新的 「健やか力」創造拠点 | 認知症サポートシステムの開発 |
| 平 | 平成 28 年度厚生労働科学研究費委託費 | | | 研究代表者 | |
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 研究課題名 |
| 1 | 医学部 | 有村 義宏 | 教授 | 難治性疾患実用化研究事業 | 難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究 |
| 2 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 革新的がん医療実用化 研究事業 | 切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究 |

関する研究

化および普及に関する研究

高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に

うつ病性障害における包括的治療ガイドラインの標準

革新的がん医療実用化

研究事業

障害者対策総合研究開発事業

平成 28 年度厚生労働科学研究委託費 研究分扣者

長島 文夫

渡邊 衡一郎

3

4

医学部

医学部

| * | 平成 28 年度厚生労働科子研究会託貨 研究分担者 | | | | | | | | | |
|---|---------------------------|-------|-----|--------------------|--|------------------|-------|--|--|--|
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 分担研究課題名 | 研究代 | 表者 | | | |
| 1 | 医学部 | 千葉 厚郎 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 免疫性ニューロパチ-の治療 反応性予測に基づく有効な 治療戦略の構築 | 近畿大学 | 楠 進 | | | |
| 2 | 医学部 | 石井 晴之 | 准教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 続発性肺胞蛋白症の調査、 患者支援 | 近畿中央胸部 疾患センター | 井上 義一 | | | |
| 3 | 医学部 | 石井 晴之 | 准教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 西関東地区治験実施 | 新潟大学 | 中田 光 | | | |
| 4 | 医学部 | 佐藤 徹 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 慢性肺血栓塞栓症に対する カテーテル治療の有用性に 関する研究 | 千葉大学 | 巽 浩一郎 | | | |
| 5 | 医学部 | 久松 理一 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | SLCO2A1 遺伝子変異の機能 解析 | 岩手医科大学 | 松本 主之 | | | |
| 6 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 胆道がんに対する治療法の 確立に関する研究 | 国立がん研究セ ンター | 奥坂 拓志 | | | |

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 分担研究課題名 | 研究代 | 表者 |
|----|-----|-------|-----|--|--|------------------|--------|
| 7 | 医学部 | 長島 文夫 | 准教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 超高齢者社会における治癒 困難な高齢切除不能進行再 発大腸癌患者に対する標準 治療確立のための研究 | 国立がん研究センター | 濱口 哲弥 |
| 8 | 医学部 | 長島 文夫 | 准教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 病理学的 Stage II /IIで" vulnerable"な 80 歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量した S-1 術後補助化学療法に関するランダム化比較第Ⅲ相試験 | 岐阜大学 | 吉田 和弘 |
| 9 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 長寿科学研究開発 事業 | 地域包括ケアにおける摂食 嚥下および栄養支援のため の評価ツールの開発とその 有用性に関する検討 | 日本歯科大学 | 菊谷 武 |
| 10 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 認知症科学研究 開発事業 | 軽度認知障害者ならびに認 知症患者の情報登録に関す る研究 | 国立長寿医療研 究センター | 鳥羽 研二 |
| 11 | 医学部 | 正木 忠彦 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 直腸癌側方骨盤リンパ節転 移の術前診断の妥当性に関 する観察研究 | 国立がん研究センター | 志田 大 |
| 12 | 医学部 | 塩川 芳昭 | 教授 | 循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策 実用化研究事業 | 発症時刻不明の脳梗塞患者 に対する静注血栓溶解療法 の適応拡大を目指した臨床 研究 | 国立循環器病研 究センター | 豊田 一則 |
| 13 | 医学部 | 塩川 芳昭 | 教授 | 循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策 実用化研究事業 | 脳卒中を含む急性循環器疾 患の救急医療の適確化をめ ざした評価指標の確立に関 する研究 | 九州大学 | 飯原 弘二 |
| 14 | 医学部 | 永根 基雄 | 教授 | 次世代がん医療 創生研究事業 | 神経膠腫 (グリオーマ) の 治療抵抗性に関連した不均 一性獲得機構の解明とそれ に対応する治療戦略の構築 | 東京大学 | 武笠 晃丈 |
| 15 | 医学部 | 平野 照之 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | CADASIL 患者データベース の構築と臨床症状の解析 | 三重大学 | 富本 秀和 |
| 16 | 医学部 | 平野 照之 | 教授 | 循環器疾患 · 糖尿病等 生活習慣病対策 実用化研究事業 | 脳卒中研究者新ネットワー クを活用した脳・心血管疾 患における抗血栓療法の実 態と安全性の解明 | 国立循環器病研究センター | 豊田 一則 |
| 17 | 医学部 | 市村 正一 | 教授 | 長寿科学研究開発 事業 | 骨粗鬆症性椎体骨折に対す る保存的初期治療の指針策 定 | 東京医科歯科大学 | 大川 淳 |
| 18 | 医学部 | 森井 健司 | 准教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 高悪性度骨軟部腫瘍に対す る標準治療確立のための研 究 | 九州労災病院 | 岩本 幸英 |
| 19 | 医学部 | 大山 学 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 病態解明(重症薬疹における単球と制御性 T 細胞の相 互作用) | 新潟大学 | 阿部 理一郎 |
| 20 | 医学部 | 大山 学 | 教授 | 免疫アレルギー疾患等 実用化研究事業・ 免疫アレルギー疾患 実用化研究分野 | 新規分子標的薬による皮膚 障害の調査および重症化予 防の研究 | 横浜市立大学 | 相原 道子 |
| 21 | 医学部 | 平形 明人 | 教授 | 医療機器開発推進 研究事業 | 術式の標準化、治験の実施 | 大阪大学 | 不二門 尚 |
| 22 | 医学部 | 徳嶺 譲芳 | 准教授 | 循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策 実用化研究事業 | 超音波ガイド下穿刺のチーム医療への展開とトレーニングプログラムの開発 | 群馬大学 | 浅尾 高行 |

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究事業名 | 分担研究課題名 | 研究代 | 表者 |
|----|-----|-------|-----|--------------------|--|----------------|--------|
| 23 | 医学部 | 神谷 茂 | 教授 | 臨床研究・治験 推進研究事業 | 抗菌薬3剤併用による難治 性潰瘍性大腸炎の治療にか かる腸内細菌叢の網羅的解 析 | 北海道大学 | 桂田 武彦 |
| 24 | 医学部 | 谷口 善仁 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | MIRAGE 症候群の治療法開 発に向けた基礎的研究 | 国立成育医療 センター | 鳴海 覚志 |
| 25 | 医学部 | 有村 義宏 | 教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究 | 東京女子医科大学 | 針谷 正祥 |
| 26 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 臨床研究・治験 推進研究事業 | 切除不能・術後再発胆道癌 に対する FOLFIRINOX 療法 | 東京大学 | 伊佐山 浩通 |
| 27 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 産学連携全国がんゲノムスクリーニング事業 SCRUM-Japan で組織した遺伝子スクリーニング基盤を利用した、多施設多職種専門家から構成された Expart Panelによる全国共通遺伝子解析・診断システムの構築および研修プログラムの開発 | 国立がん研究 センター | 吉野 孝之 |
| 28 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 消化器神経内分泌癌に対す る標準治療の確立に関する 研究 | 国立がん研究 センター | 森実 千種 |
| 29 | 医学部 | 古瀬純司 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 切除可能肝細胞癌に対する 陽子線治療と外科的切除の 非ランダム化同時対象試験 | 国立がん研究 センター | 秋元 哲夫 |
| 30 | 医学部 | 永根 基雄 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 中枢神経系原発悪性リンパ 腫に対するテモゾロミドを 用いた標準治療確立に関す る研究 | 埼玉医科大学 | 西川 亮 |
| 31 | 医学部 | 駒形 嘉紀 | 准教授 | 難治性疾患実用化 研究事業 | 難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究 | 杏林大学 | 有村 義宏 |
| 32 | 医学部 | 菊地 俊暁 | 講師 | 障害者対策総合 研究開発事業 | うつ病性障害における包括 的治療ガイドラインの標準 化および普及に関する研究 | 杏林大学 | 渡邊 衛一郎 |
| 33 | 医学部 | 長島 文夫 | 准教授 | 長寿科学研究開発 事業 | 地域包括ケアにおける摂食 嚥下および栄養支援のため の評価ツールの開発とその 有用性に関する検討 | 日本歯科大学 | 菊谷 武 |
| 34 | 医学部 | 正木 忠彦 | 教授 | 革新的がん医療 実用化研究事業 | 超高齢者社会における治癒 困難な高齢切除不能進行再 発大腸癌患者に対する標準 治療確立のための研究(適 格例の登録・治療・評価) | 国立がん研究 センター | 濱口 哲弥 |

平成 28 年度国立がん研究センター研究開発費 研究分担者

| | 十成 20 千反国立が心切れてファー切え開光員 切え力担告 | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|-------|----|--|------------------|-------|--|--|--|--|
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究課題名 | 題名 研究代表者 | | | | | |
| 1 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤 研究 | 国立がん研究 センター | 飛内 賢正 | | | | |
| 2 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | 陽子線治療の有効性検証を目的とした多施設臨床 試験の実施とその体制整備 | 国立がん研究 センター | 秋元 哲夫 | | | | |
| 3 | 医学部 | 古瀬 純司 | 教授 | がんゲノム情報を用いた全国レベルでの precision medicine 体制構築に関する研究 | 国立がん研究 センター | 吉野 孝之 | | | | |
| 4 | 医学部 | 横山 琢磨 | 助教 | 新薬開発に資するがんゲノム情報の全国レベルで のデータベース構築に関する研究 | 国立がん研究 センター | 後藤 功一 | | | | |

平成 28 年度その他助成金採択一覧

平成 28 年度長寿医療研究開発費 分担研究者

| ₩, | +04.28 平没长寿医療研究用完算 才担研究者 | | | | | | | | |
|----|--------------------------|-------|-----|--|------------------|-------|--|--|--|
| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究課題名 | 研究代表 | 長者 | | | |
| 1 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 要介護高齢者、フレイル高齢者、認知症高齢者に対する栄養療法、運動療法、薬物療法に関するガイドライン作成に向けた調査研究 | 国立長寿医療 研究センター | 佐竹 昭介 | | | |
| 2 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 高齢者における認知症や脳血管障害の発症に脳小 血管病が関与する臨床的意義に解明 | 国立長寿医療 研究センター | 佐治 直樹 | | | |
| 3 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | 身体活動の促進が認知症予防に対する効果につい ての検証 | 国立長寿医療 研究センター | 島田 裕之 | | | |
| 4 | 医学部 | 神﨑 恒一 | 教授 | フレイル高齢者のレジストリ研究及び地域高齢者 におけるフレイル予防プログラムの開発・検証 | 国立長寿医療 研究センター | 荒井 秀典 | | | |
| 5 | 医学部 | 長谷川 浩 | 准教授 | 高齢者の血管性認知症に対する心-脳連関に着目した新規予防法及び治療法の開発(副題:PDEIII阻害薬であるプレタールのもつ心拍数増加作用に着目した、高齢者の血管性認知症に対する新規予防法及び治療法の開発) | 国立長寿医療 研究センター | 清水 敦哉 | | | |
| 6 | 医学部 | 杉山 政則 | 教授 | 高齢者術後せん妄予防・治療のための標準化プログラム作成および術前 CGA/虚弱評価による高齢者手術の安全性評価に関する研究 | 国立長寿医療 研究センター | 深田 伸二 | | | |
| 7 | 医学部 | 塩川 芳昭 | 教授 | 高齢者における認知症や脳血管障害の発症に脳小 血管病が関与する臨床的意義に解明 | 国立長寿医療 研究センター | 佐治 直樹 | | | |

文部科学省 ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究課題名 |
|---|-----|------|----|---|
| 1 | 医学部 | 粟崎 健 | 教授 | ショウジョウバ工遺伝資源の総合的維持管理および提供(ショウジョウバエ近縁種突 然変異系統の収集・維持管理・提供) |

平成 28 年度埼玉県産学連携研究開発プロジェクト

| | 部局名 | 研究者名 | 職名 | 研究課題名 |
|---|-----|------|----|-----------------------------|
| 1 | 医学部 | 窪田 博 | 教授 | 日本発の低侵襲な凝固治療を可能とする心臓手術装置の開発 |